

令和 7 年度 中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

【基本目標】 心身ともに健康で、気力にあふれ、夢に向かって創造力とたくましい実践力を発揮し、新しい時代を拓く知性豊かな児童を育成する。

【目指す児童像】

- | | |
|------------------|----------|
| ○ 自ら考え 進んで学ぶ子 | 【 考える 】 |
| ○ 健康で 粘り強くやり遂げる子 | 【 やりぬく 】 |
| ○ 心豊かで 思いやりのある子 | 【 助け合う 】 |

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- | | | |
|-------------|-------|-------------------------|
| ○ 「子ども」にとって | | わくわくしながら登校し、満足して下校できる学校 |
| ○ 「教職員」にとって | | 自分の力を十分に発揮できる、やりがいのある学校 |
| ○ 「保護者」にとって | | 安心して子どもを通わせられる学校 |
| ○ 「地域」にとって | | 信頼できる「地域とともにある」学校 |

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 人権を尊重し、心豊かな子供を育成するために、多様な人々と協働する主体的な活動を取り入れ、よさを認め励まし、基本的な生活習慣の定着を図る心の教育の推進に努める。
- (2) 自ら学び、考え、表現する力を育成するために、基礎的・基本的な学習内容の定着と家庭学習の習慣化を図る。
- (3) 健やかでたくましく生きる子供を育成するために、体力の向上と望ましい食習慣の形成と命を守る安全教育の充実に努める。
- (4) 家庭・地域・関係機関と連携した社会に開かれた教育課程の実現に努め、郷土理解・郷土愛を育む地域の特性を生かした特色ある教育活動を推進する。
- (5) 教職員がいきいきとやりがいをもって勤務し、共働・協働の意識を高め、使命感と専門職としての自覚のもと、研修に励み、信頼される職場づくりに努めるとともに、教職員の働き方改革の視点に立ち、校務の効率化と勤務時間の適正化を図り、職場環境改善のための取組を推進する。
- (6) 旭地域学校園の教育ビジョンを目指し、地区内の小中学校の情報共有と共通実践を通して小中連携の一層の充実に努める。

【旭地域学校園教育ビジョン】

地域に愛される旭っ子の育成 ～地域との豊かなかかわりをめざして～

4 教育課程編成の方針

- (1) 国・県・市の基本方針、並びに児童の実態や地域の状況を考慮し、教育活動全般を通して特色ある教育を展開し、豊かな人間性や基礎・基本を身に付け、個性を生かし、変化に激しいこれからの社会を生きていくために必要な資質・能力である「生きる力」を培うためことを目指した教育課程の編成に努める。
- (2) 小学校学習指導要領の趣旨を十部に踏まえ、家庭や地域と連携を図り、それらの教育力を活用し広がりを持った教育活動が実践できるよう、社会に開かれた教育課程の編成に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
○「大樹のごとく伸びる子」を育むために、学校の組織力を高め、学校・家庭・地域の連携・協働による特色ある教育活動を展開し、地域とともにある学校づくりを推進する。
- (2) 学習指導
○主体的に取り組み、共に学び合う児童の育成 ～ 自分の考えを広げ、深めることのできる授業づくり ～
- (3) 児童生徒指導
○基本的な生活習慣を身に付け、思いやりのある児童の育成 ～ あいさつ・時間を守る・整理整頓 ～
- (4) 健康（保健安全・食育）・体力
○自ら判断し、進んで健康で安全な生活を送ることができる児童の育成
～ 「自分の力に合っためあてをもち、主体的に運動する児童」「自分の体に関心をもち、健康で安全な生活ができる児童」をめざして～

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

| 第2次宇都宮市 学校教育推進計 画後期計画基本 施策 | 評価項目 | 主な具体的な取組 | 方 向 性 | 評 価 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|--|--|-------------|---|--|-----|-----|------|----|----|-----|------|-----|------|----|-----|------|------|------|
| 1- (1) 確かな学力を育 む教育の推進 | <p>A 1 児童は, 他者と協 力したり, 必要な情 報を集めたりして考 えるなど, 主体的に 学習に取り組んでい る。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童 は, 学習課題を解決す るために, 友達と話し合 ったり, 必要な情報を集め たりしながら, じっくり 考え, 粘り強く学習に取 り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の 肯定的回答85%以上 ⇒保護者の 肯定的回答80%以上</p> | <p>① 授業の中で, 児童が「知りたい」「解決したい」と思えるような課題の設定や提示の仕方を工夫して, 知的好奇心を喚起することで, 「できた」「わかった」という達成感を味わわせ, 児童の学びに対する主体性を高めます。</p> <p>② 落ち着いて話を聞くことができる児童を育てるため, 学年に応じた「聞き方」の指導に努めます。</p> <p>③ 自信をもって自分の考えを伝えたり, 友達の前で発表したりできるように, 授業の中で, ペアやグループ, 全体活動など学習形態を工夫します。</p> | B | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 383 1538 472"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>81.2</td> <td></td> <td>90.9</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td>89.2</td> <td></td> <td>87.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>すべての対象で目標数値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 授業の中で課題の設定や提示の仕方を工夫して, 知的好奇心を喚起し, 児童の学びに対する主体性を高める。自分の考えを伝えたり, 友達の前で発表したりできるように, 授業の中で, ペアやグループ, 全体活動など学習形態を工夫する。</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | 81.2 | | 90.9 | R7 | 100 | 89.2 | | 87.0 |
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | 81.2 | | 90.9 | | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | 89.2 | | 87.0 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1- (2) 豊かな心を育む 教育の推進 | <p>A 2 児童は, 思いやり の心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童 は, 誰に対しても, 思い やりの心をもって優しく 接している。」 ⇒児童・教職員の 肯定的回答90%以上, ⇒保護者・地域の 肯定的回答90%以上</p> | <p>① 縦割り班活動など, 異学年の交流活動の充実を図り, 高学年児童が自信をもってリーダーシップをとり, 望ましい人間関係を構築できるよう支援します。</p> <p>② 児童が互いに認め合い, 自己肯定感を高められるよう, 「特別の教科 道徳」の充実を図り, 学校生活の様々な場面で認め, 励ますなどの声掛けに努めます。</p> | B | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 974 1538 1064"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>94.3</td> <td>100</td> <td>89.4</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td>98.5</td> <td>94.1</td> <td>87.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員・保護者・地域の肯定的回答は目標数値を上回ったが, 児童のみ下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ① 児童が互いに認め合い, 自己肯定感を高められるよう, 「特別の教科 道徳」等の充実を図り, 学校生活の様々な場面で認め, 励ますなどの声掛けに努める。 ② 縦割り班活動など, 異学年の交流活動の充実を図り, 高学年児童が自信をもってリーダーシップをとり, 望ましい人間関係を構築できるよう支援する。</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | 94.3 | 100 | 89.4 | R7 | 100 | 98.5 | 94.1 | 87.8 |
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | 94.3 | 100 | 89.4 | | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | 98.5 | 94.1 | 87.8 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>A 3 児童は, 目標に向 かってあきらめず に, 粘り強く取り組 んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童 は, 目標に向かってあき らめずに, 粘り強く取 り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の 肯定的回答85%以上, ⇒保護者の 肯定的回答80%以上</p> | <p>① 様々な挑戦の機会を生かし, 最後までやり遂げられるよう支援したり, 称賛や承認の場面を設定したりすることで達成感や成就感を味わわせるようにします。活動後には積極的に家庭へ伝え, 共通理解を図ることで, 児童の意欲を高めます。</p> <p>② 各種検定やマイプラン, キャリアパスポートを活用し, 目標に向かって実践できるよう支援に努めます。</p> <p>③ 学級や個人の目標を意識させ, 一人一人が目標達成に向け実践継続できるよう支援に努めます。</p> | B | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 1456 1538 1545"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>77.8</td> <td></td> <td>84.8</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td>85.5</td> <td></td> <td>84.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員・保護者の肯定的回答は目標数値を上回ったが, 児童はわずかに下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ① 様々な挑戦の機会を生かし, 最後までやり遂げられるよう支援したり, 称賛や承認の場面を設定したりすることで達成感や成就感を味わわせるようにします。活動後には積極的に家庭へ伝え, 共通理解を図ることで, 児童の意欲を高める。 ② 各種検定やマイプラン, キャリアパスポートを活用し, 目標に向かって実践できるよう支援に努めます。 ③ 学級活動や児童会活動の拡充を図り, 個人の目標を意識させ, 一人一人が目標達成に向け実践継続できるよう支援に努める。</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | 77.8 | | 84.8 | R7 | 100 | 85.5 | | 84.7 |
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | 77.8 | | 84.8 | | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | 85.5 | | 84.7 | | | | | | | | | | | | | | | |

1- (3)
健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進

A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。

【数値指標】
全体アンケートの「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」
⇒児童・教職員の肯定的回答90%以上
⇒保護者・地域の肯定的回答85%以上

- ① 様々な危険を想定した避難訓練を実施することを通して、「生活安全」・「交通安全」・「災害安全」に関する教育の充実に努めます。
- ② 遊具の使い方や校庭での遊び方、校内での過ごし方等の決まりを各学級で指導し、児童の危険回避に対する意識を高めていきます。
- ③ 健康な体作りができるように、運動・食事・睡眠・手洗い・うがい・消毒などの健康的な生活習慣や病気・けがの予防法について指導していきます。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|-----|------|------|------|
| R6 | 100 | 83.6 | 92.9 | 90.2 |
| R7 | 100 | 86.2 | 93.8 | 90.1 |

すべての対象で肯定的回答が目標数値を上回った。

【次年度の方針】

- ① 様々な危険を想定した避難訓練を実施することを通して、「生活安全」・「交通安全」・「災害安全」に関する教育の充実に努める。
- ② 遊具の使い方や校庭での遊び方、校内での過ごし方等の決まりを各学級で指導し、児童の危険回避に対する意識を高めていく。
- ③ 健康な体作りができるように、運動・食事・睡眠・手洗い・うがい・消毒などの健康的な生活習慣や病気・けがの予防法について指導していく。

B

1- (4)
将来への希望と協働する力を育む教育の推進

A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。

【数値指標】
全体アンケートの「児童は、互いの良さを生かしながら、進んで意見を発表したり協力したりして、集団での課題を解決している。」
⇒児童・教職員の肯定的回答80%以上

- ① よりよい生活が送れるよう、学級で課題解決に向けて話し合いを行い、係活動や当番活動などで進んで意見を発表したり、協力したりできるよう指導していきます。
- ② 学校生活がよりよくなるよう、委員会活動などで、互いの意見を聞き合いながら協力できるよう指導していきます。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|-----|-----|------|------|
| R6 | 100 | | | 86.4 |
| R7 | 100 | | | 86.3 |

児童・教職員共に肯定的回答が目標数値を上回った。

【次年度の方針】

- ① よりよい生活が送れるよう、学級で課題解決に向けて話し合いを行い、係活動や当番活動などで進んで意見を発表したり、協力したりできるよう指導していく。
- ② 学校生活がよりよくなるよう、委員会活動などで、互いの意見を聞き合いながら協力できるよう指導していきます。

B

2- (1)
グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進

A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。

【数値指標】
全体アンケートの「児童は、外国語活動(英語)の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」
⇒児童・教職員の肯定的回答90%以上

- ① 児童生徒が、英語を使って自分の気持ちや考えなどを適切に伝えることができるよう、教員が自ら積極的に英語を使うとともに、ALTを活用した、英語によるやりとりを中心とした授業を推進します。
- ② 英語のネイティブスピーカーであるALTを、授業はもとより休み時間や清掃時などあらゆる時間において活用し、児童が生きた英語に触れる機会の充実に努めます。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|-----|-----|------|------|
| R6 | 100 | | | 80.3 |
| R7 | 100 | | | 77.9 |

教職員の肯定的回答は目標数値を上回ったが、児童は大きく下回った。

【次年度の方針】

授業では、ALTと交流する活動を意図的に入れる。清掃時間や行事などを活用し、ALTと関わる時間を設ける。

B

| | <p>A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答80%以上</p> | <p>① 児童が、「宇都宮学」で学んだ歴史や伝統文化、産業などについて知り、地域学習や校外学習等をとおして、郷土への愛情と誇りをもてるような学習を推進します。</p> <p>② 「宇都宮学」で学習した内容を、授業参観・懇談会や、学校だより・学年だより等で児童や保護者に周知することに努めます。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 143 1541 232"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>79.7</td> <td></td> <td>86.4</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td>81.0</td> <td></td> <td>90.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>すべての対象で肯定的回答が目標数値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 宇都宮学に限らず、各教科で今年度充実させた公共施設や地域文化財などへの校外学習をはじめとした郷土への愛情と誇りをもてるような学習を継続していく。</p> <p>② 引き続き学習した内容を、授業参観・懇談会や、学校だより・学年だより等で保護者に周知していく。</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | 79.7 | | 86.4 | R7 | 100 | 81.0 | | 90.8 |
|---|--|---|---|------|-----|-----|------|----|----|------|------|--|------|----|-----|------|--|------|
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | 79.7 | | 86.4 | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | 81.0 | | 90.8 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2- (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進</p> | <p>A 8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童(生徒)は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答90%以上、 ⇒保護者80%以上</p> | <p>① これからの社会に求められる情報活用能力を育成するために「情報モラル」や「デジタルシティズンシップ教育」等の充実を図ります。</p> <p>② 児童がパソコンなどに親しみ、適切に活用する能力を育成するために、発達段階に合わせて、デジタル機器の活用を図ります。</p> <p>③ 学習における図鑑などの書籍や新聞等の活用を推進し、図書室の学習センター・情報センターとしての機能を充実させます。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 618 1541 707"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>83.1</td> <td></td> <td>83.3</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td>73.0</td> <td></td> <td>87.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は目標数値を上回ったが、保護者・児童は下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 授業において、調べ学習や学習のまとめにおいて、積極的にデジタル機器の活用を図る。図鑑などの書籍や新聞等の活用を推進し、図書室の学習センター・情報センターとしての機能を充実させる。</p> <p>② デジタル機器を利用した様子をHPに掲載し、保護者に周知する。</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | 83.1 | | 83.3 | R7 | 100 | 73.0 | | 87.8 |
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | 83.1 | | 83.3 | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | 73.0 | | 87.8 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進</p> | <p>A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心を持っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、「持続可能な社会」について、関心を持っている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答85%以上</p> | <p>① 国語・社会・理科・家庭科・総合的な学習の時間・道徳科等において、環境問題やエネルギー問題、防災等の「持続可能な社会」を見据えた授業の充実を図ります。</p> <p>② 図書委員会や、給食環境委員会でSDGsに関するイベント等を実施することで児童への意欲付けを図ります。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 1144 1541 1234"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>84.2</td> <td></td> <td></td> <td>85.6</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td>90.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童・教職員共に肯定的回答が目標数値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 国語・社会・理科・家庭科・総合的な学習の時間・道徳科等において、環境問題やエネルギー問題、防災等の「持続可能な社会」を見据えた授業の充実を図る。</p> <p>② 児童会でSDGsに関するイベント等を実施することで児童への意欲付けを図る。</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 84.2 | | | 85.6 | R7 | 100 | | | 90.1 |
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 84.2 | | | 85.6 | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | | | 90.1 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p> | <p>A 10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上</p> | <p>① 日常の観察や相談活動のほか教育相談週間やQ-U検査など、多くの視点から児童理解に努めます。</p> <p>② 通常の学級で特別な支援を必要とする児童の様々な教育的ニーズに対応するため、かがやきルームや特別支援学級、通級指導教室の効果的活用を図るとともに、少人数指導やTTなど個に応じた指導・支援に努めます。 (定期的・臨時的な教育支援委員会設置)</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 1576 1541 1666"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は100%だった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 日常の観察や相談活動のほか教育相談週間やQ-U検査など、多くの視点から児童理解に努める。</p> <p>② 通常の学級で特別な支援を必要とする児童の様々な教育的ニーズに対応するため、かがやきルームや特別支援学級、通級指導教室の効果的活用を図るとともに、少人数指導やTTなど個に応じた指導・支援に努める。 (定期的・臨時的な校内教育支援委員会設置)</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | | | | R7 | 100 | | | |
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3- (2)
いじめ・不登校
対策の充実

A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。

【数値指標】
全体アンケートの「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」
⇒児童・教職員の肯定的回答90%以上、
⇒保護者・地域の肯定的回答80%以上

- ① 児童についての日常の情報交換や観察、教育相談、アンケート調査等を通して、児童の実態把握、いじめの早期発見・早期解決に努めるとともに、ネットコミュニケーションのマナーやルールの大切さと危険性について、懇談会等の機会を利用して児童・保護者への啓発をします。
- ② 教科や道徳、学級活動の時間に、「いじめ」は絶対に許されないということを、継続指導していきます。
- ③ 「いじめゼロ強調月間」を設定し、児童会でポスター作成や集会を行ったり、児童が作った標語を教室に掲示したりして、意識付けを図り、取り組みの様子を学校HPや各種たより等を利用して、家庭に周知します。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|-----|------|------|------|
| R6 | 100 | 82.5 | 100 | 96.2 |
| R7 | 100 | 88.5 | 88.2 | 94.7 |

すべての対象で肯定的回答が目標数値を上回った。

【次年度の方針】

- ① 児童についての日常の情報交換や観察、教育相談、アンケート調査等を通して、児童の実態把握、いじめの早期発見・早期解決に努めるとともに、ネットコミュニケーションのマナーやルールの大切さと危険性について、懇談会等の機会を利用して児童・保護者へ啓発する。
- ② 教科や道徳、学級活動の時間に、「いじめ」は絶対に許されないということを、継続指導していく。
- ③ 「いじめゼロ強調月間」を設定し、児童会でポスター作成や集会を行ったり、児童が作った標語を教室に掲示したりして、意識付けを図り、取り組みの様子を学校HPや各種たより等を利用して、家庭に周知する。

B

A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。

【数値指標】
全体アンケートの「教職員は、不登校を生まないよう、一人一人の児童を大切に、児童がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」
⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答85%以上

- ① 教職員が教育相談や日々の学校生活内での児童との対話を心がけ、児童の些細な変化を見逃さないように学校全体で取り組みます。
- ② 帰りの会等を利用して児童のがんばりを学級内で共有したり、励まし合ったりすることで温かい雰囲気を作ることができるようになります。
- ③ 一人一台端末を活用し、不登校傾向にある児童と教員をつなぐ機会をもつことで学校の様子を知らせ、心の安定を図ります。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|-----|------|------|------|
| R6 | 100 | 84.4 | | 95.5 |
| R7 | 100 | 91.8 | | 93.9 |

すべての対象で肯定的回答が目標数値を上回った。

【次年度の方針】

- ① 教職員が教育相談や日々の学校生活内での児童との対話を心がけ、児童の些細な変化を見逃さないように学校全体で取り組む。
- ② 帰りの会等を利用して児童のがんばりを学級内で共有したり、励まし合ったりすることで温かい雰囲気を作ることができるようになる。
- ③ 一人一台端末を活用し、不登校傾向にある児童と教員をつなぐ機会をもつことで学校の様子を知らせ、心の安定を図る。

B

3- (3)
外国人児童生徒等への適応支援の充実

A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。

【数値指標】
全体アンケートの「教職員は、児童の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、児童が明るくいきいきと学校生活を送れるようにしている。」
⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答90%以上

- ① 児童一人一人の話をよく聞き、声を掛け、よいところを認めて伸ばす指導に努めます。
- ② 児童会活動や縦割り班活動の充実、学級活動の充実を通して、児童が主体的に活動する場を多く設定することで、楽しく活気あふれ、児童にとって「居がいい」のある学級・学校を目指します。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|-----|------|------|------|
| R6 | 100 | 85.5 | 100 | 92.4 |
| R7 | 100 | 93.3 | 93.8 | 93.1 |

すべての対象で肯定的回答が目標数値を上回った。

【次年度の方針】

- ① 児童一人一人の話をよく聞き、声を掛け、よいところを認めて伸ばす指導に努める。
- ② 児童会活動や縦割り班活動の充実、学級活動の充実を通して、児童が主体的に活動する場を多く設定することで、児童が達成感を感じられるとともに、楽しく活気がある「居がいい」のある学級・学校を目指す。

B

3- (4)
多様な教育的ニーズへの対応の強化

| <p>4- (1) 教職員の資質・能力の向上</p> | <p>A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答85%以上</p> | <p>① 授業のねらいを明確にし、達成させるための手だてを工夫し、児童が主体的に学びに取り組めるように、指導・支援方法の改善に努めます。</p> <p>② 確かな学力を育成するため、少人数指導、習熟度別学習、T・T、かがやきルームでの指導など、個に応じた指導の更なる充実に努めます。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>80.6</td> <td></td> <td>97.0</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td>85.5</td> <td></td> <td>96.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>すべての対象で肯定的回答が目標数値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 少人数指導、習熟度別学習、T・T、かがやきルームでの指導など、個に応じた指導の充実にさせる。一人一授業や要請訪問の様子をHPに掲載し、保護者に周知する。</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | 80.6 | | 97.0 | R7 | 100 | 85.5 | | 96.9 |
|----------------------------------|--|--|--|------|-----|-----|------|----|----|-----|------|--|------|----|-----|------|--|------|
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | 80.6 | | 97.0 | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | 85.5 | | 96.9 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>4- (2) チーム力の向上</p> | <p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答85%以上</p> | <p>① 様々な職員の専門性を生かし、効果的・効率的に授業や業務が行われるよう連携します。</p> <p>② 学校行事や校内研修ばかりでなく、日頃から全教職員が一丸となって、児童指導を充実させます。 ・児童についての情報共有 ・質の高い指導法の学び合い</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は100%だった。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の取組を継続していく。</p> <p>① 様々な職員の専門性を生かし、効果的・効率的に授業や業務が行われるよう連携する。</p> <p>② 学校行事や校内研修ばかりでなく、日頃から全教職員が一丸となって、児童指導を充実させる。 ・児童についての情報共有 ・質の高い指導法の学び合い</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | | | | R7 | 100 | | | |
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>4- (3) 学校における働き方改革の推進</p> | <p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答85%以上</p> | <p>① 業務の進め方を見直したり、業務内容を精選したりすることで、放課後の時間を確保し、教材研究や児童指導の充実に努めます。</p> <p>② 多様な専門性を有する学校スタッフが共同して教材を作成したり、既存資料を利活用したりすることで、児童の実態に合わせた指導の充実に努めます。</p> <p>③ 月2回セルフリフレッシュデー（定時時刻で退勤する日）を自己決定します。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は100%だった。</p> <p>【次年度の方針】 ① 業務の進め方を見直したり、業務内容を精選したりすることで、放課後の時間を確保し、教材研究や児童指導の充実に努める。</p> <p>② 多様な専門性を有する学校スタッフが連携して、それぞれの強みを活かし教材を作成するなど、業務の効率化に取り組む。</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | | | | R7 | 100 | | | |
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

5- (1)
全市的な学校運営・教育活動の充実

A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。
【数値指標】
全体アンケートの「学校は、児童生徒や教職員の交流、小中一貫カリキュラムの作成・見直しなど、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」
⇒教職員・5・6年児童の肯定的回答85%以上
⇒保護者・地域の肯定的回答80%以上

- ① あいさつ運動、宮っ子チャレンジへの協力など、中学校と連携した教育活動の推進を目指します。
- ② 9年間を見通した年間指導計画の実践や授業力向上のための小中一貫研修等により、学力向上の推進を図ります。
- ③ 小中一貫教育に関する取組内容を、積極的に学校だよりや学年だより等で周知することに努めます。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|-----|------|------|------|
| R6 | 100 | 71.9 | 92.9 | 90.9 |
| R7 | 100 | 77.2 | 87.5 | 90.9 |

教職員・児童・地域の肯定的回答は目標数値を上回ったが、保護者のみ下回った。
【次年度の方針】
① あいさつ運動、宮っ子チャレンジへの協力など、中学校と連携した教育活動の推進を目指す。
② 9年間を見通した年間指導計画の実践や授業力向上のための小中一貫研修等により、学力向上の推進を図る。
③ 小中一貫教育に関する取組内容を、積極的に学校だよりや学年だより、地域協議会等で周知することに努める。

5- (2)
主体性と独自性を生かした学校経営の推進

A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。
【数値指標】
全体アンケートの「学校は、家庭、地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」
⇒教職員・児童・保護者・地域の肯定的回答85%以上

- ① 学校支援ボランティアやコミュニティセンター、オリオン通り商店会、企業などと連携し、学校と保護者、地域等が一体となった教育活動を推進し、児童が多くの人と関わりながら体験的に学ぶ機会を充実させます。
- ② P T A運営委員会や地域協議会で学校の取組を説明し、学校の現状や課題について理解していただき、今後の学校運営が向上していくよう、地域・保護者と連携・協力して学校教育活動の充実を努めます。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|-----|------|------|------|
| R6 | 100 | 87.5 | 100 | 87.1 |
| R7 | 100 | 95.1 | 100 | 90.8 |

すべての対象で肯定的回答が目標数値を上回った。
【次年度の方針】
① 学校支援ボランティアやコミュニティセンター、オリオン通り商店街、企業などと連携し、学校と保護者、地域等が一体となった教育活動を推進し、児童が多くの人と関わりながら体験的に学ぶ機会を充実させる。
② P T A役員会や地域協議会で学校の取組を説明し、学校の現状や課題について理解していただき、今後の学校運営が向上していくよう、地域・保護者と連携・協力して学校教育活動の充実を努める。

6- (1)
安全で快適な学校施設整備の推進

A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。
【数値指標】
全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」
⇒教職員・保護者・地域の肯定的回答85%以上

- ① 定期的な安全点検を実施し、迅速な修繕・補修による適切な学習環境の整備に努めます。
- ② 保護者や学校支援ボランティアと連携を図り、壁面や廊下等を活用して児童の作品を掲示するなど、学習や活動の意欲を高める温かな環境づくりを推進します。
- ③ 校内施設の担当者や使用者は、普段から物品管理、整理整頓を行い、安全で安心できる環境づくりに努めます。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|-----|------|------|----|
| R6 | 100 | 85.1 | 100 | |
| R7 | 100 | 85.2 | 100 | |

すべての対象で肯定的回答が目標数値を上回った。
【次年度の方針】
① 定期的な安全点検を実施し、迅速な修繕・補修による適切な学習環境の整備に努める。
② 保護者や学校支援ボランティアと連携を図り、壁面や廊下等を活用して児童の作品を掲示するなど、学習や活動の意欲を高める温かな環境づくりを推進する。
③ 校内施設の担当者や使用者は、普段から物品管理、整理整頓を行い、安全で安心できる環境づくりに努める。

6-(2)
学校のデジタル
化推進

A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。

【数値指標】
全体アンケートの「私は、授業（授業準備も含む）や業務の改善に、デジタルを積極的に活用している。」
⇒教職員の肯定的回答80%以上

- ① 校内研修会をとおして、指導力の向上や活用についての共通理解を図ります。
- ② 学校ホームページやさくら連絡網を有効活用し、学校情報の提供をデジタル化し、業務改善を目指します。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|------|-----|------|----|
| R6 | 100 | | | |
| R7 | 94.1 | | | |

教職員の肯定的回答は94.1%で、目標数値を上回った。

【次年度の方針】

校内研修会をとおして、指導力の向上や活用についての共通理解を図る。

B

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等

B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。

【数値指標】
全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」
⇒児童・教職員の肯定的回答90%以上、
⇒保護者・地域の肯定的回答80%以上

- ① 教職員が率先して明るいあいさつの実践、声掛けに努めます。
- ② 小中あいさつ運動や児童会のあいさつ運動を実施し、学校内・外でのあいさつの習慣化を図ります。
- ③ 道徳、学級活動、日々の指導を通して、あいさつの種類や時と場に応じたあいさつについて指導していきます。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|------|------|------|------|
| R6 | 94.7 | 75.0 | 85.7 | 91.7 |
| R7 | 100 | 87.1 | 87.5 | 91.6 |

すべての対象で肯定的回答が目標数値を上回った。

【次年度の方針】

- ① 教職員が率先して明るいあいさつの実践、声掛けに努める。
- ② 小中あいさつ運動や児童会のあいさつ運動を実施し、学校内・外でのあいさつの習慣化を図る。
- ③ 道徳、学級活動、日々の指導を通して、あいさつの種類や時と場に応じたあいさつについて指導していく。

B

B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。

【数値指標】
全体アンケートの「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」
⇒児童・教職員の肯定的回答80%以上、
⇒保護者・地域の肯定的回答85%以上

- ① あいさつ・時間を守る・整理整頓に焦点を当てた指導を行い、基本的な生活習慣を身に付けることができるよう指導します。
- ② 安全な登下校のきまりやマナーについて、それぞれの担当場所の問題点を学校全体で情報共有し、一斉下校時に児童への指導に当たります。
- ③ 月ごとの行事や気候に合わせた生活目標を設定し、帰りの会等で児童自身が振り返りを行い、望ましい生活習慣の定着を図ります。

【達成状況】

| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 |
|----|-----|------|------|------|
| R6 | 100 | 85.7 | 100 | 90.2 |
| R7 | 100 | 93.7 | 100 | 90.8 |

すべての対象で肯定的回答が目標数値を上回った。

【次年度の方針】

- ① あいさつ・時間を守る・整理整頓に焦点を当てた指導を行い、基本的な生活習慣を身に付けることができるよう指導する。
- ② 安全な登下校のきまりやマナーについて、それぞれの担当場所の問題点を学校全体で情報共有し、一斉下校時に児童への指導に当たる。
- ③ 月ごとの行事や気候に合わせた生活目標を設定し、帰りの会等で児童自身が振り返りを行い、望ましい生活習慣の定着を図る。

B

| <p>B 3 家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、家庭学習や自主学習にすすんで取り組んでいる」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答90%以上</p> | <p>① 「家庭学習マイプラン」により家庭と連携しながら、宿題の内容を工夫したり、宿題の量を調整したりして、家庭学習の習慣化を目指します。</p> <p>② 学年の発達段階に合わせた自主学習の内容・量について指導し、継続して取り組めるようにするとともに、手本となる児童のノートを称賛し、全児童に発信するなど、児童の意欲喚起に努めます。</p> | <p>B</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>63.0</td> <td></td> <td>79.5</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>88.2</td> <td>68.3</td> <td></td> <td>84.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は目標数値を上回ったが、教職員・保護者は下回った。</p> <p>【次年度の方針】 「家庭学習マイプラン」により家庭と連携しながら、宿題の出し方を工夫、家庭学習の習慣化を目指す。学年の発達段階に合わせた自主学習の内容・量について指導し、継続して取り組めるようにするとともに、手本となる児童のノートを称賛し、全児童に発信するなど、児童の意欲喚起に努める。</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | 63.0 | | 79.5 | R7 | 88.2 | 68.3 | | 84.0 |
|---|---|-------------|--|-------------|-----|-----|------|----|----|-----|------|-----|------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | 63.0 | | 79.5 | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 88.2 | 68.3 | | 84.0 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>B 4 児童は、読書習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、読書活動にすすんで取り組んでいる」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答70%以上</p> | <p>① 朝の読書の時間や、学校支援ボランティアによる読み聞かせ、親子での「家読」の奨励等、本に親しむ機会を設定することで、児童の読書に対する興味関心を高めます。</p> <p>② チャレンジブックの実施、読書週間でのイベント等を通して、豊かな感性を育む読書活動の推進に努めます。</p> | <p>B</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>71.2</td> <td></td> <td>67.4</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td>51.6</td> <td></td> <td>72.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は目標数値を上回ったが、保護者・児童は下回った。</p> <p>【次年度の方針】 朝の読書の時間や、学校支援ボランティアによる読み聞かせ、「家読」の奨励等、本に親しむ機会を設定することで、児童の読書に対する興味関心を高める。チャレンジブックの実施、読書週間でのイベント等を通して、豊かな感性を育む読書活動の推進に努める。土日の家読を奨励する。</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | 71.2 | | 67.4 | R7 | 100 | 51.6 | | 72.5 |
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | 71.2 | | 67.4 | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | 51.6 | | 72.5 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>B 5 「自分・友だち・中央地区」みんな大好き夢いっぱい事業を掲げ、「学び」・「やさしさ」・「生きる力」の育成を図る。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「『考える』『やりぬく』『たすけあう』ザウルスキッズとして縦割り班活動や地域の行事などに一生懸命取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答85%以上</p> | <p>① 本校のマスコットである「ザウルス」を活用し、「考える」「やりぬく」「たすけあう」のあいことばを意識させた各種活動の充実に努めます。 ・縦割り共遊（ザウルスタイム） ・ザウルスランキング ・縦割り班清掃</p> <p>② 様々な人との関わりの中で、地域の一員としての自覚を高められるよう、体験活動や地域行事への参加など可能な限りできる活動の展開に努めます。また、保護者・地域へ活動の様子を周知するよう努めます。 ・宮っ子「夢」教室 ・まちなか花壇</p> | <p>B</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> <th>児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>94.4</td> <td>100</td> <td>92.4</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>100</td> <td>90.5</td> <td>92.9</td> <td>93.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>すべての対象で肯定的回答が目標数値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ① 本校のマスコットである「ザウルス」を活用し、「考える」「やりぬく」「たすけあう」のあいことばを意識させた各種活動の充実に努める。 ・縦割り共遊（ザウルスタイム） ・ザウルスランキング ・縦割り班清掃 ② 様々な人との関わりの中で、地域の一員としての自覚を高められるよう、体験活動や地域行事への参加など可能な限りできる活動の展開に努めます。さらに保護者・地域へ活動の様子を周知するよう努める。 ・宮っ子「夢」教室 ・まちなか花壇</p> | | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | R6 | 100 | 94.4 | 100 | 92.4 | R7 | 100 | 90.5 | 92.9 | 93.1 |
| | 教職員 | 保護者 | 地域住民 | 児童 | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 100 | 94.4 | 100 | 92.4 | | | | | | | | | | | | | | |
| R7 | 100 | 90.5 | 92.9 | 93.1 | | | | | | | | | | | | | | |

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

1 <<学校運営>> 学校の組織力を高め、特色ある教育活動の展開

特色ある教育活動を実践するにあたり、学校長のリーダーシップの下、地域の教育力を最大限活用するよう努めてきた。その結果、「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実に努めている」や「児童は、『考える』『やりぬく』『助け合う』ザウルスキッズとして、縦割り班や学校行事にすすんで参加し、意欲的に活動している」で、児童・教職員・保護者・地域住民のすべての対象で肯定的回答率が90%を超えた。今年度は、いじめゼロ集会を城址公園で行ったり、6年生の総合的な学習での「未来体験」で新しい事業所に協力を得たりするなど、学校と地域のネットワークがさらに広がったので、今後も学習指導要領の趣旨を踏まえて、特色ある教育活動を推進していきたい。

2 <<学習指導>> 主体的に取り組み、共に学び合う児童の育成

児童の学びに対する主体性を高めるため、学習の目標やねらいを踏まえたうえで、児童の知的好奇心を高めながら、「自ら進んで学びたい」、「既習事項を活用して解決したい」という思いを喚起するような、課題設定や学習活動の工夫に取り組んできた。マネジメントアンケートの「教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。」については、保護者と児童ともに肯定的回答率が目標数値を上回った。また、本校独自の目標項目である「児童は、家庭学習や自主学習に進んで取り組んでいる」については、肯定的回答率は目標数値に届かなかったが、保護者と児童の数値は昨年度より5ポイントほど上昇した。学校の取組の成果が出てきている結果と言える。引き続き、教職員の研修を積極的に進めて授業力の向上を図り、一人一人に応じたきめ細やかな指導を行うとともに、保護者との連携をさらに図りながら、家庭での学習習慣を定着させるための工夫改善を行い、学力の向上につなげていきたい。

3 <<児童指導>> 基本的な生活習慣を身に付け、思いやりのある児童の育成

明るく素直な児童が多く、落ち着いて学校生活を送っている。アンケートの「思いやり」に関する項目では、児童のみが肯定的回答で目標値を下回り、昨年度よりも1.6ポイント下がった。引き続き、互いを認め合い言動にも気をつけさせる児童指導や学級経営を推進していく。今回のアンケートで気になったのは、児童の自己肯定感の低さである。児童自身に関するアンケートで、9項目中7項目で市の平均値を下回った。児童一人一人を大切な存在として、認め励ますことを念頭に関わってきたが、教職員の思いは児童にまだ届いていない。次年度は、「道徳」の授業や特別活動をさらに充実させたり、児童の頑張りを目に見える形で称えるような取組を行ったりすることで、「児童一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気」の学校づくり、そして児童の自己肯定感の高揚に努めていきたい。

4 <<健康・体力・安全>> 自ら判断し、進んで健康で安全な生活をしようとする児童の育成

本校児童は明るく元気に生活している。ここまで、12月に5年生、2月に6年生がインフルエンザ等による学年閉鎖を行った。アンケートの「児童は、健康や安全に気を付けて生活している」については、すべての対象で目標数値を上回った。避難訓練だけでなく、学校のすべての教育活動をとおして「生活安全・交通安全・災害安全」の充実を図り、児童の危機意識の高揚を図っていききたい。体力に関しては、全国や県の平均を下回っている種目が多く課題は多いが、20mシャトルランは6年女子以外のすべての学年で県平均を上回っており、教科体育や体育的行事の成果が出てきている。今後も、児童の体力の現状を見極め、体力の向上や運動量の保持・増進に向けた取組の工夫を図っていききたい。

7 学校関係者評価

【児童の自己肯定感について】

- ・ 子供たちは優しく謙虚なのか。学校外の活動では、自己肯定感の低さを感じない。
- ・ 野球部やサッカー一部など他校との交流の中で、少数派の中央小の児童には競争意識の低さがあるかもしれない。
- ・ 子供たちは、自分のことをどう表現したらいいかわからないのではないかと。隣近所を気にせず、もっと大きな声を出すなど、自分を表現する場があるとよいのではないかと。
- ・ クラスで、友達に自分のよいところを話してもらおうなどの活動を取り入れたらどうか。
- ・ 家庭での取組が大切。学校任せにするのではなく、家庭でも子供のいいところを褒めてほしい。PTA役員会で伝えるなどして、家庭で子供を褒める取組が浸透していくとよい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

学校の自己評価や保護者、児童、地域協議会委員の皆様方から寄せられた貴重なご意見を真摯に受け止め、次年度の方策について具体的に検討していきたい。特に重点とすることは以下のとおりである。

【学校運営】

- ・ 引き続き地域や保護者との連携を大切にし、学校の取組や児童の頑張りや成長を積極的に発信し、児童の健やかな成長に向けて、互いの役割を担っていけるようにしていく。
- ・ 地域の教育力を生かした教育活動のさらなる充実や地域とともにある学校づくりの推進に努める。

【学習指導】

- ・ 児童の「やってみよう」「知りたい」という知的好奇心を喚起し、児童が主体的に学習に取り組む授業を展開するために、これまで以上に教職員の研修の充実を努め、授業準備のための時間を確保したりする。
- ・ 家庭学習の習慣を定着させるために、保護者に協力を依頼したり課題の出し方等を工夫したりし、自主学習の仕方や取組内容についての具体的な支援を行う。
- ・ 授業参観で読書に関する活動を行ったり、チャレンジブックの実施や図書室のイベント等の情報を発信したりして、読書の日常化を保護者に周知する機会を増やす。

【児童指導】

- ・ 自分のよさや成長を実感できるような児童指導を充実させるとともに、学校独自の表彰や「褒める」ことの見える化に取り組んでいく。
 - ・ 教育相談を充実させ、教職員が日々の学校生活内での児童との対話を心がけ、児童の些細な変化を見逃さないようにすることで、「いじめ」「不登校」の未然防止に努める。
- 中学校と連携し、あいさつ運動を展開するとともに、児童が主体的にあいさつできるような児童会活動の活性化を図る。また校内だけでなく、家庭・地域と連携し、あいさつの励行を推進していく。

【健康体力】

- ・ 児童の体力の現状及び年度ごとの推移を把握し、落ち込んでいる領域を補強する運動を取り入れたり、意図的に運動に親しむ活動を設定したりして、体力や運動能力の向上を図る。
- ・ 動画の作成や公開、また校内の掲示物を充実させることで、健康に対する意識をさらに高めていく。さらに、児童の給食委員会の活動を活発にし、学校給食を通して、食に関する指導の充実を図る。
- ・ 「生活安全・交通安全・災害安全」の指導を充実させ、児童の危機意識を高める。また、様々な危険を予測し自らの命を守りぬく行動力を育成する。